

(8) 各国オークション データ作成手順

記号：

- C: paired with bandwidth: ()
- D: auction delayed, cancelled
- dd: digital dividends
- dtv: allocation for digital television
- E: expected revenues, “desired to be raised”
- F: auction failed/cancelled, C/C license revoked
- J: under judicial process
- L: legislation completed
- M: reserve price, minimum price
- N: tech-neutral licensing
- R: regional licenses(全国免許でなく地域に分かれる)
- U: license upgradable
- WT: WiMAX/TDD licensing
- Z: 詳細 (→原資料)

A. 記事内容の取捨選択：

原則： エクセル表項目に合う情報だけをピックアップし、合わない情報は捨てる。

1. 実質的に同一内容プリントが複数あるときは、古い日付で記入。
2. 記入しなかったプリントは、No.を横線で消しておく。
3. 記入したプリントにNo.がないときは、“#”を入れておく。
4. 以後 No.割り振りは不要（日付、国名で同定できる。）

B. オークションと直接割当 (A/C)

- C： 周波数帯直接割当、代価なし（無料、不明を含む）
- C+： 直接割当、政府が決めた代価を支払う
- A-： 代価を支払う。代価を決めるときに政府と事業者で交渉し、高い代価の提示者に割当てる。
- A： オークション／入札で競り上げ。最高額を入札した事業者に割当てる。
- “tender”： C+ と A- の双方に使う。Aにも使う。
- “auction”： 主としてAに使う（英米系）。A-に使うこともある（ロシア、中東など）。

C. オークション (A) / 直接割当 (C) のプロセス :

進行度 :

1. planning announcement, news only
2. planning with public comments, petitions, etc.
3. bidding plan completed, announced; auction/tender started
4. auction/tender closed
5. license assignment completed/finalized

1. 政府 (規制当局) による割当予定、オークション予定などのニュースが出る。
2. 政府が割当・オークションについての実施計画・予定等を発表。PC (パブリックコメント) を募集する、事業者 (providers) が注文をつけることもある。
3. 政府がオークション等の実施計画を確定。オークション/入札開始、直接割当 (C) の場合の申込開始
4. 上記終了
5. 政府による免許発行、割当確定
実際には上記 4, 5 のプロセスに注意 (これを後のデータとして使う)

D. データの区別、進行度

1. 異なる周波数帯のデータがある場合は、2 番目以降データについて進行度を 11, 12, 13, …; 21, 22, 23, … など、桁を増やして対応する。
2. 同一日付プリント中に複数内容のデータがある (別段落に、見逃していた過去ニュースのことが多い) でエクセル表に未記入のデータがある場合は、便宜上「行」を新設する。

日付: 後者のデータ日付を 1 日ずらし、備考欄に正確な日付を記入する。

例: 4 月 10 日ニュースに 700MHz と 900MHz のオークション・ニュースがある場合:

1 件目:

日付は 4 月 10 日、 進行度は 1、 700MHz 帯に*

2 件目:

日付は 4 月 11 日、 進行度は 11、 900MHz 帯に*、
備考に「4 月 10 日分」と記入。

E. 利用目的

- 2G: GSM を含む
- 3G: UMTS を含む
- 4G: LTE を含む
- W: WiMAX
- WT: WiMAX/LTE-TD を含む

F. Duration

免許期間: license period, license term, 5, 20, 15, 18, 20 年など

G. 帯域

1. 定義

1G は主として 1.5G, 1.8G 帯（それ以外の場合は帯域を備考に記入）

2G は 2.6G 未満のみ。

2.6G 以上は別の欄を使用。

3G 以上の分は帯域を備考に記入。

2. 帯域使用方法：

- ① 帯域 1 個のみで使う（例 5MHz）

1×5 と記入

同種免許が複数個（例 3 免許）の場合：

3×（1×5） と記入

- ② 帯域 2 個（通常は同一サイズ、例 10MHz）をペアとして組み合わせて使う

2×10 と記入

同種免許複数個（例 5 免許）の場合

5×（2×10） と記入

この場合、異なる帯域（例 700MHz 帯と 900MHz）にまたがってペアされる場合：

700MHz 帯に 5×（2×10） C（900） と記入

- ③ 帯域サイズ不明のときは“* [半角]”を記入。

- ④（同一進行度グループ、すなわち進行度表示の 2 桁目以上が同一の場合について）「同上」のときは“@ [半角]”を記入。

3. 帯域幅合計：

- ① 原則として「落札帯域合計」に記入

- ② 落札帯域幅が計画幅を下回るときは、「計画幅合計」にも記入

H. 支払額

実際の支払額はそのまま入れる（US\$表示あるときのみ）

E：見込み、希望額には“E”をつける。

M：最低価格 minimum price, reserve price とも言う。

落札・支払額欄には、割当対象になった帯域全体の価格を記入。

I. 不明箇所

プリントに“☆”を書き込み、対応する表中の箇所に“●”記号をつける。